

多彩な資材で便利に



軽トラ活用の幅を広げる資材も、さまざまなものが登場している。

カムサー(神戸市)が今年発売したのが「アオリ水平保持具」。軽トラのあおりを開いた状態で固定する器具で、あおりを積み降ろし時の作業台や、腰かけにできる。器具が地面に接地するタイプと接地しないタイプがある。接地するタイプは1基で100ポンド近くまで載せられる。非接地タイプは、荷台上に設置し、両側面のあおりを締め固定する。接地タイプに、オプションで上に伸びる支柱を付ければ、雨よけのシートなどを張る柱としても使える。価

あおり固定 ■ 除草機楽に ■ 箱型コンテナ



カムサーの「アオリ水平保持具」(同社提供)。問い合わせは同社、☎078(950)9050

格は接地式で93500円から。美善(山形県酒田市)は、自走式の草刈り機の積み降ろしに使える「のぼりレールSSKB103」を販売する。草刈り機をレールの上に移動させ、レールごと荷台に上げ、荷台から降ろす際は、レールを引っ張り出すだけ。歩み板を持ち運ぶ必要がなくなり、荷台

箱明(はこあす、神奈川県三浦市)が2025年に発売するのが、荷台に載せて使う箱型コンテナ「箱明」だ。素材に発泡スチロールなどを使う

ことで、断熱効果が高く、農作物を長時間新鮮

な状態で運べる。重さ約150ポンド。左右



2025年に発売予定の「箱明」(箱明提供)。問い合わせは同社ホームページ



美善の「のぼりレール」(同社提供)。問い合わせは同社、☎0234(2)317

重さ約150ポンド。左右に大きく跳ね上がる構造で、搬入がしやすい。内部には、長さ60ポンド、幅40ポンド、高さ20ポンドのサイズで積載できる。専用タブレットが標準装備されており、コンテナ内のカメラを通じて農産物の状態や、コンテナ内の温湿度を確認できる。天井には発光ダイオード(LED)照明が付いている。照明や温湿度計などは、屋根に付いた太陽光パネルから蓄電した電気で作動する。

(後藤真唯子、森市優が担当しました)

▶軽トラを活用して実践している独自のアイデアがありましたら、取材班まで情報をお寄せください。メールeino@agrnews.co.jp